

# 「知財・無形資産ガバナンスガイドライン」 実践マニュアル デザイン（意匠）編 《後編》

レクシア特許法律事務所 弁理士 松井宏記

K&T 特許商標事務所 弁理士 青木覚史

TMI 総合法律事務所 弁理士 茜ヶ久保公二

## 目次

### 《前編》（本誌第139号）

1. まえがき
2. 知財・無形資産における「デザイン」の基本的理解
  - (1) デザインを取り巻く環境の変化
  - (2) 企業のデザインに関する知的財産戦略の在り方
  - (3) 考察
3. デザインを強みとするビジネスモデルの各論

### (1) インプット

### (2) 事業活動、プロセス

### 《後編》（本号）

### (3) アウトプット

### (4) アウトカム

### (5) 強み維持・強化のための投資

### 4. おわりに

コーポレートガバナンス（企業統治）実現のための主要な原則・指針である「コーポレートガバナンスコード」（金融庁・東京証券取引所）について、各企業がこれを具体的に実践できるようにすべく「知財・無形資産の投資・活用戦略の開示及びガバナンスに関するガイドライン（略称：知財・無形資産ガバナンスガイドライン）」が内閣府知的財産戦略推進事務局により策定された。これを受けて、日本弁理士会において、2022年3月にガバナンス・コード実践マニュアル執筆対応タスクフォースが立ち上げられ、弁理士会員向けに「知財・無形資産ガバナンスガイドラインの実践に役立つマニュアル」が作成された。

当該マニュアルは、「技術・ノウハウ（特許）」「ブランド（商標）」「デザイン（意匠）」にそれぞれフォー

●図1

